

主催者用

横須賀エコツアー新型コロナウイルス感染予防対策ガイドライン（暫定版）

◆主催者（ツアーガイド）向け

1 全般的な事項

- (1) 感染防止のため、主催者が実施すべき事項や参加者が順守すべき事項をあらかじめ整理し、参加者へ周知できるようにする。
- (2) 各事項がきちんと順守されているかフィールドの定期的な巡回、確認をする。
- (3) 万が一感染が発生した場合に備え、個人情報の取扱いに十分注意しながら、参加者名簿等の情報について、期間を定めて（少なくとも1月以上）保存しておく。
- (4) ツアー後に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合には、横須賀エコツアーサポート協会事務局（自然環境共生課）に直ちに連絡する。

2 ツアープログラム参加者 募集時の対応

- (1) 事前予約等で人数制限を行う。
- (2) 参加者の名簿を作成して連絡先を把握する。
- (3) 国が示す「新しい生活様式の実践例」等に基づき、感染予防策を講じる。

【新しい生活様式の実践例（基本的な感染防止策）】

- ・人と人との距離の確保
- ・マスクの着用
- ・手指の消毒設備の設置、手洗いなどの手指衛生

- (4) 開催施設の利用条件を順守する（収容人数の目安は50%以下等）。

【プログラム企画時の確認事項】

- (5) 集合、ツアープログラム実施中、解散までの一連の流れの各場面で、三密が回避される行程になっているか。
- (6) ツアー参加者同士、参加者とガイドとの間での接触感染、飛沫感染を防ぐための安全対策が考えられているか（マスクの着用、手指・備品のこまめな消毒、大きな声で会話しない、休憩・待機スペースを含めたディスタンスの維持、なるべく対面を避ける、インカム・拡声器の活用などの対応がとれるか）。
- (7) 感染拡大防止のために「参加者が順守すべき事項」（別紙参照）を事前に明確にし、協力を求めておく。これを順守できない参加者には、他の参加者の安全を確保する等の観点から、ツアーへの参加を取り消したり、途中で退席を求めたりすることがあり得ることを周知する。

3 当日の参加受付時の対応

- (1) 発熱や軽度であっても咳・咽頭痛などの症状がある人は参加しないように呼び掛ける（状況によっては、発熱者を体温計などで特定し入場を制限することも考えられる）。
- (2) 参加者の名簿を作成して連絡先（電話番号等）を把握する。
- (3) 受付窓口に、手指消毒剤を設置する（ツアー中にも携帯）。
- (4) 参加者、スタッフともにマスク着用を徹底する。受付時に参加者がマスクを準備しているか確認し、マスクの着用を求める。
- (5) 参加者が距離をおいて並べるように案内する（目印の設置など）。

4 ツアープログラム実施中

【ツアー開始時、事前説明】

- (1) 募集時等にあらかじめ周知しておいた「参加者が順守すべき事項」について、ツアー開始時に再度参加者に説明・確認する。
- (2) ツアー前後のブリーフィングなどにおいても、三密を避けるよう呼びかける。

【ガイドトーク時】

- (1) ツアー中のマスク着用を徹底する。（ガイド・参加者ともに）
- (2) ソーシャルディスタンスを確保する。（ガイドと参加者、参加者同士（同居家族を除く））
- (3) 不特定多数の人が触る備品などは、こまめな消毒を徹底する。
- (4) 散策の際には前の人呼気を避けるために、可能なかぎり前後、一直線に並ぶのではなく、斜め後方など立ち位置を工夫する（可能なガイドツアーのみ）。

5 報告・連携について

ツアー終了後2週間以内に参加者から新型コロナウイルス感染症を発症したとの報告があった場合には横須賀エコツアーサポート協会事務局に連絡し、感染の疑いのある参加者の状況や症状を伝え、指示に従うこと。感染者が発生したツアーの参加者に連絡を取る場合があります。